

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）センシュウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ノグチゼミナール
専修大学	経済学部	野口ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 内動画 （有・無）
フリガナ）ノグチゼミセンジュウハチヴァージョン	フリガナ）リュウマサヒコ	9	無
野口ゼミ 2018ver.	劉昌彦		

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 （例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）
指示棒

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ（発表タイトル）
ペーパーレス社会の実現に向けて

※必ずく企画シート作成上の注意を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

本研究は、ペーパーレス(ここでは主に情報を紙媒体ではなくデジタル化して運用することをいう)社会の実現および普及を目的とする。厳密に言えば、ペーパーレス化がもたらすメリットならびにデメリットの把握、国内および海外における事例の検討等を通して現状分析を深める。さらに、よりミクロな見地から、我が野口ゼミナールにおいてクラウド・サービスの導入実験を行い、その利便性等を考察したうえで研究目的への関連性を分析する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

近年、政府主導のいわゆる働き方改革が注目を浴びているが、なかでも ICT の活用、特に業務の電子化・ペーパーレス化は重要視されている。政府においては、2012 年に省庁横断で利用できる文書管理システムを導入し、各省に利用を促してきた。しかし、2016 年度における政府全体の決済文書の電子化率は、実質的には 69.7%と伸び悩んでいる実態が明らかになっている。また、ローランド・ベルガーの調査によれば、他の先進諸国と比較しても我が国の労働生産性は 2015 年の時点で 45.0(米

ドル/人・時間)と低水準である。一方、国内における紙(印刷・情報用紙)の需要は、2017 年度で 8,434 千トンと世界的にも高水準であり、紙への依存度は高いといえる。以上の論拠から、業務上の電子化・ペーパーレス化の導入には十分な余地があると想定される。

3. 研究テーマの課題

研究概要でも述べたように、本研究では狭義的な次元でのアプローチを視野に入れた実証実験として、我が野口ゼミナル内においてクラウド・サービス(Google Drive™ オンライン ストレージ サービス)を導入し、実際に運用した。その結果、研究テーマの課題として主に以下の 3 点を見出すことができた。

- ①複雑なシステムを詳しく理解する必要がある
- ②初期設定の難易度が高い
- ③いわゆるアナログ世代のような機械の操作に不馴れな利用者にはハードルが高い

4. 課題解決策 (新たなビジネスモデル・理論など)

前述の課題を克服するための解決策としては、以下のようなものが想定される。

- ①ファイルを共有する際に共通のパスワードを使用する
- ②簡潔で分かりやすいマニュアルの作成(動画等を有効に活用)
- ③クラウド・サービスの初回利用時にはチュートリアルが再生される(設定で必要に応じて再度確認可)

また、あくまで番外ではあるが、根本的な解決策のひとつとして、新たなクラウド・サービスの構築も考えられる。

5. 研究・活動内容 (アンケート調査、商品開発など)

本研究を進めるうえで、我々は主にクラウド・サービス、ひいてはペーパーレス化が普及しない原因やそのネックを把握するという目的で他のゼミに所属する学生、総勢 108 人(男女)にクラウド・サービスに関する意識調査を実施した。具体的な質問内容としては、クラウド・サービスの利用経験の有無や利用したことのあるサービスの種類等である。

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通して、数多くのクラウド・サービスが存在しているにも関わらずペーパーレス化が進まない原因には、サービスの利用方法がわからない、あるいは初期設定に手間がかかり開設が困難である、といったハードルがあるとの結論が導出された。加えて、企業や地方自治体、国といった広義的な次元で導入する場合、初期費用や業務改革への抵抗感というような障壁が存在すると考えられる。

そうした結果を受け、我々は引き続き大規模な意識調査を実施し、よりスムーズに利用可能かつより便益を享受できるクラウド・サービスの在り方を検討すると同時に、大学側にその有益性を提唱することでゼミナル等での活用案を学内に広め、認知度や利用者数の向上に取り組むたいと考えている。

7. 参考文献

書籍・雑誌

Abigail J. Sellen, Richard H. R. Harper (柴田博仁・大村賢悟訳)『ペーパーレスオフィスの神話—なぜオフィスは紙であふれているのか?—』創成社 (2007 年)

石川真子「電子カルテ導入後のペーパーレス化促進への取り組み」『医事業務(通巻 531 号)』産労総合研究所 附属 医療経営情報研究所(2018 年)

(株)新潟ジャムコ 生産技術科/情報システム課「製造用書類のデジタル化《787 ラボトリー ペーパーレス システム》」『航空技術(通巻 755 号)』公益社団法人 日本航空技術協会(2018 年)

ウェブサイト

<https://www.jpa.gr.jp/states/paper/index.html>

(日本製紙連合会『製紙産業の現状』より 最終閲覧日: 2018/09/10 15:20)

<http://platinum.mri.co.jp/node/811>

(プラチナ社会研究会 松田智生 『米国で導入が進むデジタル・レシート技術で紙の利用削減と環境寄与』より
最終閲覧日：2018/09/10 16:03)

<https://news.mynavi.jp/article/paperless-3/>

(マイナビニュース 『ペーパーレスではじめる働き方改革 究極のペーパーレス国家 エストニア』より
最終閲覧日：2018/09/10 19:35)

<https://jpn.nec.com/case/asahigroup-holdings/index.html>

(NEC HP 『導入事例 アサヒホールディングス株式会社様』より 最終閲覧日：2018/09/11 10:22)

<https://sidebooks.jp/report01.html>

(SideBooks クラウド本棚 『ユーザーレポート Vol.1 逗子市議会編』より 最終閲覧日：2018/09/11 10:41)

<https://www.impress.co.jp/newsrelease/2018/07/20180724-01.html>

(インプレス総合研究所 『電子書籍ビジネス調査報告書 2018』より 最終閲覧日：2018/09/11 10:59)

<https://monstar.ch/omiselab/store/yoshinoya-clipline/>

(OMISE Lab おみせラボ 『「吉野家×ClipLine」の事例から紐解く、IT 時代の飲食業界』より
最終閲覧日：2018/09/11 11:05)

<https://tech.nikkeibp.co.jp/atcl/nxt/mag/nc/18/042700046/042700001/>

(日経 XTECH 『電子化が進まない省庁、実態が明らかに』より 最終閲覧日：2018/09/17 14:00)

<http://mag.executive.itmedia.co.jp/executive/articles/1705/22/news006.html>

(IT media 『生産性向上に向けたデジタルの活用方法』より 最終閲覧日：2018/09/17 14:28)

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/pdf/n4200000.pdf>

(総務省 平成 29 年版 情報通信白書 第 1 部 『働き方改革と ICT 利活用』より
最終閲覧日：2018/09/17 15:37)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

(外務省 JAPAN SDGs Action Platform 『SDGs とは?』より 最終閲覧日：2018/09/17 15:57)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください